

# 週休2日モデル工事の試行について（概要版）

## 1 目的

建設業界においては、担い手不足が懸念され、若手の技術者や技能労働者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保が重要な課題であり、若年技術者等の入職促進策として、建設現場における「週休2日」の確保などによる働き方改革の実現が求められている。

建設現場における「週休2日」を確保していくに当たり、現場における現状の課題や問題点を把握するため、モデル工事を試行する。

## 2 週休2日とは

本モデル工事における「週休2日」とは、工期内において、土日・祝日に関わらず、**週休2日（4週8休）以上の現場閉所**を行うことをいう。（年末年始6日間及び夏期休暇3日間は現場閉所日から除く）

※ただし、「週休2日の確保」の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日の実施にあたっては、その趣旨に沿うよう努めるものとする。

## 3 対象工事

- ・入札告示文及び特記仕様書に「**週休2日モデル工事**」であることが明記された工事
- ・週休2日の実施については、契約後、**受注者が選択**

※今年度については 「特殊舗装道路改良工事 第10工区」（5/27告示・6/11入札予定）  
「市道以平・西7線線舗装新設工事」（6/10告示・6/25入札予定）  
の2つの工事を予定

## 4 成績評価および経費の補正

- ・週休2日（4週8休）以上の現場閉所を履行確認のうえ、**工事成績評価で加点（1点を加点）**
  - ・現場閉所の状況に応じて、**労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費、現場管理費を補正**
- ※モデル工事の対象工事以外の工事であっても、週休2日による施工の実施が確認できた場合は、工事成績評価で評価する。（経費の補正は行わない。）

## モデル工事試行の流れ

### 告示段階

- ・入札告示文及び特記仕様書に「週休2日モデル工事」であることを明記する。

### 契約後

- ・受注者は「週休2日」の取組意思を表明し、施工協議簿に協議記録を残す。
- ・計画工程表（休日取得計画）を施工計画書に添付し、工事監督員へ提出する。

### 工事施行段階

- ・週休2日の実施状況は工事旬報等により確認する。
- ・現場閉所の状況に応じ、設計変更により、工事費を補正する。

### 完成後

- ・工事監督員は、工事旬報等により休日の取得状況を確認し、工事成績評価において適切に評価を行う。
- ・受注者（下請業者含む）はアンケート調査に協力する。

### 【補正係数（土木工事の場合）】

	4週6休	4週7休	4週8休以上
労務費	1.01	1.03	1.05
機械経費（賃料）	1.01	1.03	1.04
共通仮設費	1.01	1.03	1.04
現場管理費	1.02	1.04	1.05